

(様式 1-3)

双葉地方水道企業団再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	水道水に対する住民の不安解消事業	事業番号	(3)-11-1
交付団体	双葉地方水道企業団		事業実施主体 (直接/間接)	双葉地方水道企業団(直接)	
総交付対象事業費	24,128 (千円)		全体事業費	137,796 (千円)	

再生加速化に関する目標

小戸ダムの水を生活用水として利用している住民の早期帰還促進に資するべく、基幹浄水場である小山浄水場を含む給水区域内の水道水に係る放射線モニタリングの強化、並びに、当企業団が実施している放射性物質除去の取り組みについて住民の理解促進等を図り、住民の一層の安心につなげていく。

事業概要

①小山浄水場における水道水モニタリング検査の機器の定期点検及び保守の実施

小山浄水場から供給される水道水に対する住民の不安を払拭するためには、連続的な放射性物質モニタリング検査を行い、安全性を確保し安心感を高めることが重要である。

このため、住民の放射線に対する不安解消を目的として、平成 26 年度に 1 時間ごとに自動サンプリングを行いモニタリング検査を実施する機器を製作・設置したところであるが、今後も適正な検査精度を確保し安定した運転を図るため、当該機器の定期点検及び保守を実施する。

②給水区域内における浄水モニタリング検査の毎日実施

当企業団が供給する水道水は、現在、福島再生加速化交付金を活用し平成 26 年 12 月より浄水のモニタリング検査を毎日実施しているが、平成 27 年度についても同様の検査体制を継続することで、住民の更なる不安解消を図る。

当面の事業概要

<平成 27 年度>

- ・小山浄水場における放射性物質の 24 時間モニタリング検査機器の定期点検及び保守の実施  
→平成 26 年度に設置したモニタリング検査機器の運用を開始するとともに、定期点検等を実施する。
- ・水道水の放射性物質モニタリング検査業務委託の実施 (毎日検査)

<平成 28 年度～平成 29 年度>

- ・小山浄水場における放射性物質の 24 時間モニタリング検査機器の定期点検及び保守の実施
- ・水道水の放射性物質モニタリング検査業務委託の実施 (毎日検査)

地域の再生加速化との関係

上記の取り組みにより、小山浄水場を含む給水区域内の水道水の更なる安全性を確保することや、当企業団の放射性物質除去の取り組みについて住民のご理解をいただくこと等により、避難住民の早期帰還促進に向け、一層の安心につなげることに寄与する。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

双葉地方水道企業団再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	地下水水源に対する住民の不安解消事業	事業番号	(2)-8-1
交付団体	双葉地方水道企業団		事業実施主体 (直接/間接)	双葉地方水道企業団(直接)	
総交付対象事業費	42,552 (千円)		全体事業費	42,552 (千円)	

再生加速化に関する目標

地下水を生活用水として利用している住民の早期帰還促進に資するべく、水道施設である水源地 4 箇所(中川原水源地(楡葉町)・寺下水源地(楡葉町)・富岡第一水源地(富岡町)・富岡第二水源地(富岡町))に濁度計を設置し、小山浄水場(楡葉町)での遠方監視体制(24 時間常時監視)とすることで、現在給水している全ての区域について原水濁度の常時監視が可能になり、地域間で格差のない体制となることから、地下水における濁質成分の混入による水道水に対する放射性物質への不安を解消し、住民の一層の安心につなげていく。

事業概要

・水源地における濁度計の設置並びに遠方監視設備の整備  
中川原水源地(楡葉町)・寺下水源地(楡葉町)・富岡第一水源地(富岡町)・富岡第二水源地(富岡町)に濁度計を設置し、小山浄水場(楡葉町)での遠方監視設備を整備することで、水源地での濁度を 24 時間常時監視し、濁質成分の混入による水道水に対する放射性物質への不安を解消する。万が一放射性物質を含む濁質成分が混入した場合にも早期に取水停止の措置を講ずることが可能となるため、水道水の更なる安全性を確保できる。  
※各水源からの給水範囲については、別添の「双葉地方水道企業団水道事業施設図」を参照。

当面の事業概要

<平成 27 年度>

- ・水源地における濁度計の設置並びに遠方監視設備の整備

地域の再生加速化との関係

当企業団給水区域内では、水源として表流水だけでなく、浅井戸などを使用していた地域がある。  
今後の復興に伴う新しい生活の再開等にあたり、発災時に飛散した放射性物質の水道水への混入等の可能性に対する不安が非常に強いことから、水源地に濁度計を設置して遠方監視設備を整備することにより、小山浄水場での 24 時間常時監視が可能となる。  
更に、万が一放射性物質を含む濁質成分が混入した場合にも早期に取水停止の措置等を講ずることが可能となるため、水道水の更なる安全性が確保でき、避難住民の早期帰還促進に向け一層の安心につなげることに寄与するものである。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	